

標 題 : The chronic intake of a Mediterranean diet enriched in virgin olive oil, decreases nuclear transcription factor  $\kappa$  B activation in peripheral blood mononuclear cells from healthy men  
バージンオリーブ油を強化した地中海食事の長期摂取は、健康な男性由来の末梢血単核細胞で核内転写因子  $\kappa$  B の活性化を低下させる

---

著 者 : P. Perez-Martinez, et al. (スペイン Reina Sofia 大学病院  
脂質・アテローム性動脈硬化研究部)

---

掲 載 誌 : Atherosclerosis 194: e141-e146 (2007)

---

要 旨 :

目 的 : 核内転写因子  $\kappa$  B(NF- $\kappa$  B)は炎症反応で重要な役割を演じ、そして食事脂肪によって調節される。

脂肪組成の異なる3種類の食事のNF- $\kappa$  Bの活性化に対する影響を、末梢血単核細胞(PBMCs)で我々は調べた。

方 法 : 16人の健康な男性が4週間の食事3種類にランダムクロスオーバー法で従った: 飽和脂肪(SFA)が豊富な西洋の食事[SFA 22%、1価不飽和脂肪(MUFA) 12%および $\alpha$ -リノレン酸 0.4%]; 地中海食事[SFA<10%、MUFA 24%および $\alpha$ -リノレン酸 0.4%]; および $\alpha$ -リノレン酸を強化した低脂肪食事[SFA<10%、MUFA 12%および $\alpha$ -リノレン酸 2%]。

単核細胞中のNF- $\kappa$  B(電気泳動移動度シフトアッセイ)および可溶性血管細胞接着分子1(VCAM-1)の血漿濃度(ELISA法)を各食事後に検査した。

結 果 : 西洋の食事は、地中海食事と比較してNF- $\kappa$  Bを2.7倍増加させ(p=0.038)、 $\alpha$ -リノレン酸食事と比較して1.79倍増加させた(p=0.07)。

後者の2つ(注: 地中海食事と $\alpha$ -リノレン酸食事)の間に差は見られなかった。さらに、血漿VCAM-1の増加が西洋の食事で観察された(p<0.05)。

結 論 : 地中海食事は西洋の食事と比較して単核細胞でNF- $\kappa$  Bの活性化を弱めたので、その心臓保護特性が裏づけられる。

n-3系強化食事の影響は中間であった。

キーワード : 食 事、血液細胞、核内転写因子(NF)  $\kappa$  B、オリーブ油、VCAM-1

---